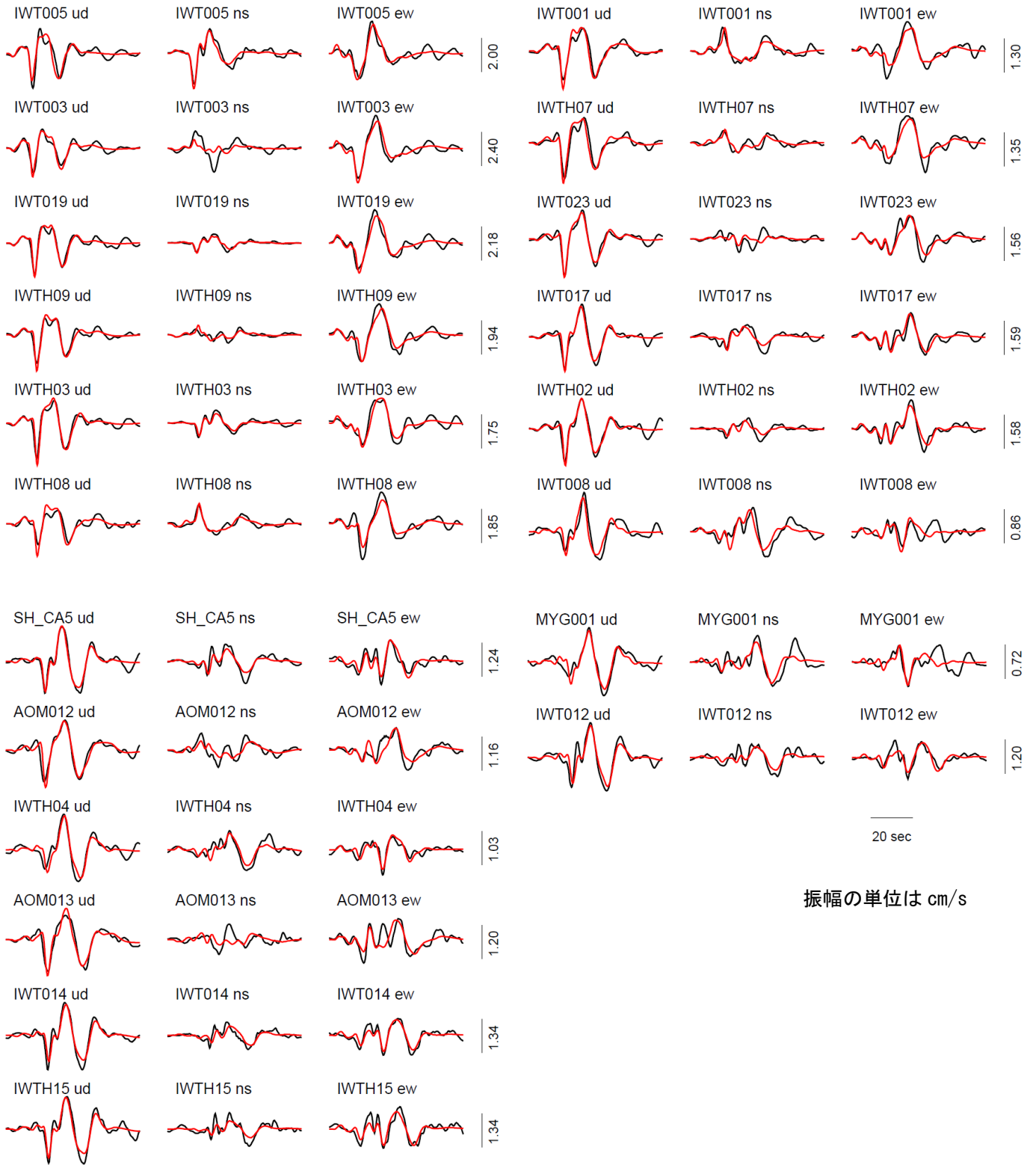


観測波形（黒：0.02Hz-0.15Hz）と理論波形（赤）の比較



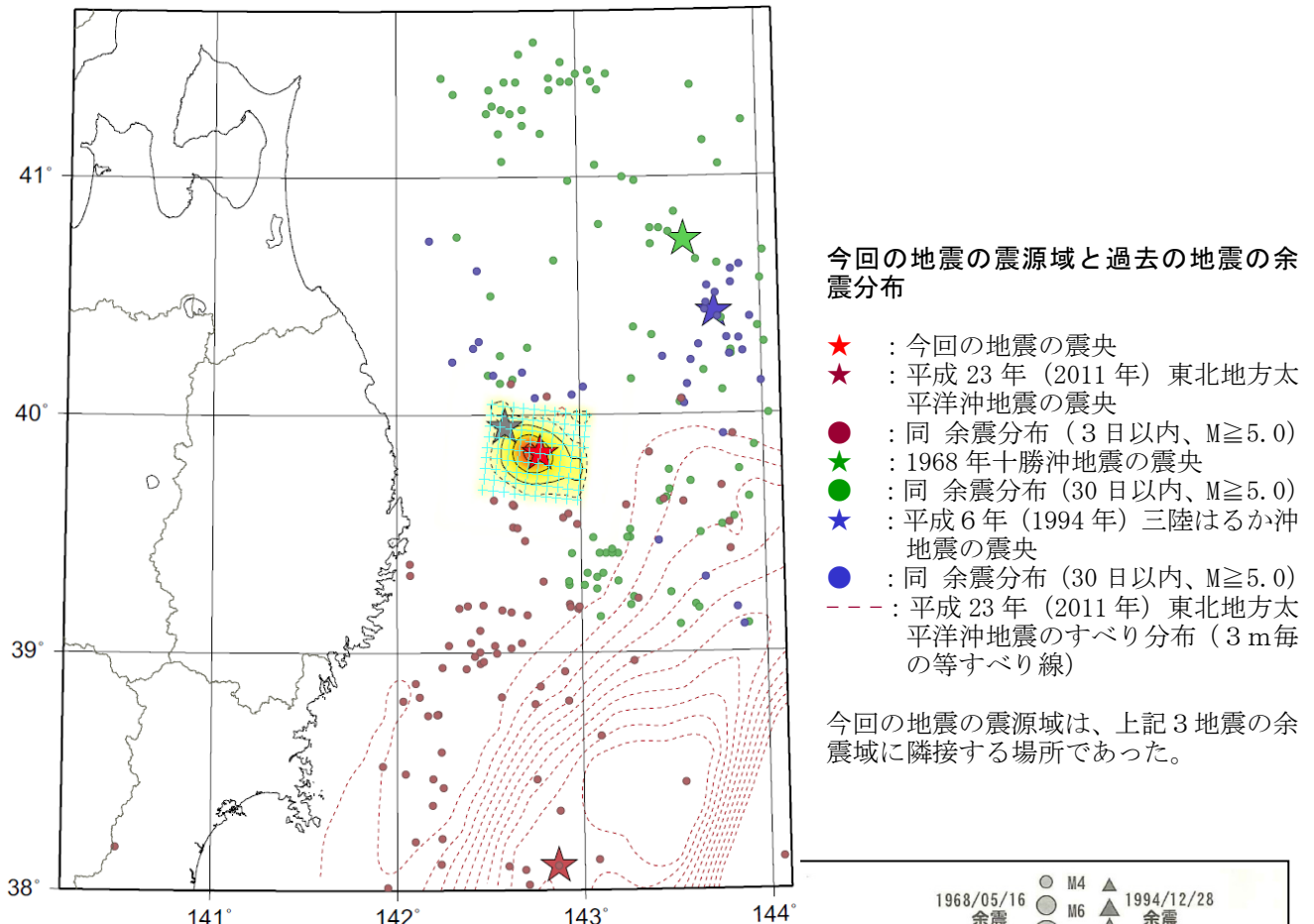
振幅の単位は cm/s

(参考) 過去の地震の震源域との関係

2011年3月11日15時08分に岩手県沖で発生した地震の震源過程解析の結果について、周辺の過去の地震の震源域との関係を示す。

今回の地震の震源域は、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の震源域の北西端に位置し、同地震のすべりが小さかった場所で発生している。

また今回の地震の震源域は、1968年十勝沖地震や平成6年(1994年)三陸はるか沖地震の震源域の南西に隣接した場所に位置している。



今回の地震の震源域は、上記3地震の余震域に隣接する場所であった。

今回の地震の震源域と過去の地震のすべり分布
 菊地正幸(2003)『リアルタイム地震学』、
 東京大学出版会、p.146の図に加筆

- ★ : 今回の地震の震央
- : 同 おもなすべり領域
- ★ : 1968年十勝沖地震の震央
- : 同 おもなすべり領域
- ★ : 平成6年(1994年)三陸はるか沖地震の震央
- : 同 おもなすべり領域

今回の地震の震源域(おもなすべり領域)は、1968年十勝沖地震や、平成6年(1994年)三陸はるか沖地震の震源域の南西に隣接する場所であった。

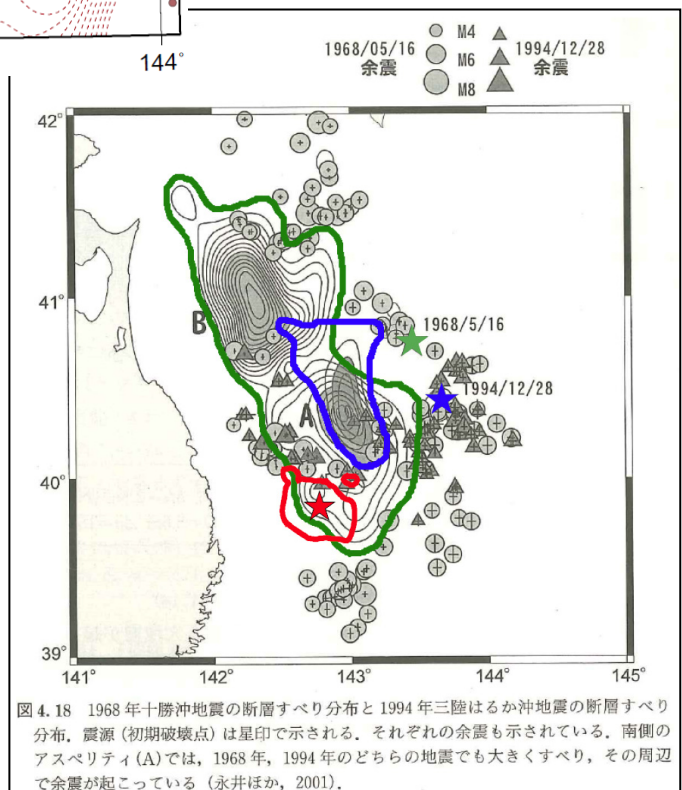


図4.18 1968年十勝沖地震の断層すべり分布と1994年三陸はるか沖地震の断層すべり分布。震源(初期破壊点)は星印で示される。それぞれの余震も示されている。南側のアスペリティ(A)では、1968年、1994年のどちらの地震でも大きくすべり、その周辺で余震が起こっている(永井ほか, 2001)。